

UEDA Kazuhiro

上田 和宏 ウエダ カズヒロ

教授

経済学修士 (神戸大学)

京都大学経済学部卒業(1982), 神戸大学大学院経済学研究科単位取得満期退学(1987), 岩手大学人文社会科学部講師(1988~1991), 日本福祉大学赴任(1991), キャリア開発部長(2001~2005), 経済学部長補佐(2005~2009), 経済学部長(2009~).

【研究分野】

理論経済学.

【キーワード】

不平等尺度, 貧困尺度.

【担当授業科目】

学 部 : キャリア開発 I, 卒業研究, 経済学.

通信教育部 : 経済学.

【主な研究テーマ】

1. 貧困尺度の実証分析

貧困尺度の実証分析に Bayesian の手法を用いてその有効性を検証する. 比較的有効性が高いと考えられる FGT 型の貧困尺度を用いて一時的な貧困, 持続的な貧困など貧困の要素を分解し, それらについてアメリカや日本のマイクロデータを利用して実証する.

2. 主観的幸福に関する実証分析

幸福感や生活満足度などの主観的データを用いて, それらと経済, 社会, 人口的要因などとの関連を分析する手法の開発や実証分析を行う.

【主な研究業績】

<著書>

- 『1からの経済学』 総頁249p, 共著, 「市場の限界」 pp. 99-113, 碩学舎, 2010. 12.
- 『経済学』 総頁271p, 共著, 「はじめに」 pp. i - ii, 「第1講 経済学の課題」 pp. 1-11, 「第2講 市場経済の仕組み」 pp. 12-23, 「第29講 国際経済からのアプローチ」 pp. 238-246, 学校法人法音寺学園, 2001. 04.

<論文>

- “Self-Assessed Social Position and Poverty”, Discussion Paper, Series A (Hokkaido University) No. 2010-227, 共著, 北海道大学大学院経済学研究科, 2010. 07, pp. 1-31.
- “Measuring Inequality of Subjective Well-Being: A Bayesian Approach”, Discussion Paper Series A (Hokkaido University) No. 2010-217, 共著, 北海道大学大学院経済学研究科, 2010. 01, pp. 1-32.
- 「個票データを用いた家計の貧困の計測」, 『日本福祉大学経済論集』第38号, 共著, 日本福祉大学経済学会・日本福祉大学福祉社会開発研究所, 2009. 03, pp. 27-49.
- “Estimation of Engel Curve from survey data with zero expenditures”, Oxford Bulletin of Economics and Statistics Vol. 70 No. 4, 共著, Blackwell, 2008. 08, pp. 535-558.
- “Measuring chronic and transient components of poverty: a Bayesian approach”, Empirical Economics Vol. 33 No. 3, 共著, Springer, 2007. 11, pp. 469-490.
- 「家計の貧困状況の推移について」, 『Discussion Paper Series 北海道大学大学院経済学研究科』B-68, 共著, 北海道大学大学院経済学研究科, 2007. 07, pp. 1-23.

- 「貧困尺度の理論的基礎について—アンケート調査による分析—」, 『日本福祉大学経済論集』第31号, 共著, 日本福祉大学経済学会・日本福祉大学福祉社会開発研究所, 2005. 08, pp. 1-19.
- 「不平等尺度と不平等感—アンケート調査による検証—」, 『日本福祉大学経済論集』第24号, 共著, 日本福祉大学経済学会・日本福祉大学福祉社会開発研究所, 2004. 08, pp. 29-31.
- 「8章 直接投資と相対賃金との関係についての考察: Das モデルをもとにして」, 科学研究費補助金(平成13年度-15年度)基盤研究B 1 13430003 研究成果報告書 『直接投資が雇用・所得分配・産業構造に及ぼす効果の研究—日本とアジアを中心に—』, 単著, 2004. 03, pp. 1-14.
- 「所得不平等尺度に関する理論的基礎について—アンケート調査を用いた検討—」, 『日本福祉大学経済論集』第24号, 共著, 日本福祉大学経済学会・日本福祉大学福祉社会開発研究所, 2002. 01.
- 「管理職の行動を考慮に入れた賃金決定モデルについて」, 『日本福祉大学経済論集』第20号, 共著, 日本福祉大学経済学会・日本福祉大学福祉社会開発研究所, 2000. 02, pp. 75-90.
- 「輸出と海外生産を行う独占企業の行動」, 『日本福祉大学経済論集』第18号, 共著, 日本福祉大学経済学会・日本福祉大学福祉社会開発研究所, 1999. 02, pp. 43-60.

<学会発表>

- Measuring Chronic and Transient Components of Poverty: A Bayesian Approach, International Conference on “Statistics, Combinatorics and the Related Areas”, 2002. 12.

【所属学会】

日本経済学会(1984~), 日本統計学会(1988~), 経済統計学会(1988~).